

# 第40回 富澤、赤、黄男顕彰俳句大会 作品募集

八幡浜が生んだ俳人、富澤赤黄男の偉業を讃え開催する  
“顕彰俳句大会”の作品を募集します

大会期日：令和7年3月2日（日）  
募集締切：令和6年11月30日（土）



富澤 赤黄男（とみざわかきお）【一九〇二～一九六二】

「新興俳句運動の第一人者」

本名富澤正三。明治三五年に旧川之石村に生まれ、宇和島中学校、早稲田大学を卒業後、地元の銀行に勤務するかたわら、郷土の俳句同好会に入り俳句を始めました。

昭和に入つて新興俳句が興るや、水を得た魚のように俳句・評論・時評・詩などを次々と発表。自由主義的な句風で俳壇にその名を知られるようになりました。

句集には『天の狼』『蛇の笛』『黙示』があります。

主催 八幡浜俳句協会・八幡浜市教育委員会  
後援 愛媛県・愛媛県教育委員会・八幡浜市  
八幡浜市文化協会・八幡浜商工会議所  
保内町商工会・愛媛新聞社

NHK松山放送局

愛媛県俳句協会・愛媛県現代俳句協会  
西宇和農業協同組合・八幡浜郵便局  
株式会社あわしま堂

協賛 株式会社伊予銀行  
株式会社愛媛銀行

赤黄男



〈川之石小学校校庭句碑〉

つきあたり  
つきあたりして  
蟻の行く

爛々と虎の眼に降る

落葉

## 作品募集の部

一 芯募要領 没回用紙の必要事項を記載 (没回数(1回)用: 1000冊)

現金書留もしくは、定額小為替等を同封の上、応募下さい。

銀行口座を開設していますのでご利用下さい。（別紙明細添付）  
心導は河原町。但、未発表作品は前書き不可。

応募は何紙でも可 但し 未発表新説作品とし前書き不可  
高校生の応募についてはご相談下さい（電話〇八九四一三六一三〇四〇）  
「投句用紙は、八幡浜市のホームページからもダウンロードできます。」

http://www.

• /df

**応募締切** 令和六年十一月三十日(土)※当日消印可  
**入選句集** 大会出席者に配布。大会不参加で送付ご希望の方は、投句の際に

一八〇円分の切手を同封して下さい。

一応募宛先  
〔八幡浜市文化会館（ゆめみかん）一内富澤赤黄男頬彰俳句大会係  
〒七九六・〇一〇一 愛媛県八幡浜市保内町宮内一  
一一八

● 赤黄男賞・知事賞・市長賞ほか多数  
各副賞（八幡浜名産品）

當日の部

一 大会日時 令和七年三月一日(日) 投句受付(九時三十分～十一時)

十二時三十分開会～十六時閉会（予定）

愛媛県八幡浜市保内町宮内一一一八  
内リまで新町⇒

「八幡浜市文化会館（ゆめみかん）」

鼎談 塚内稔典氏（佛人・一窓の会）主宰 小西昭夫氏（「子規新報」編集長）

神野紗希氏（現代俳句協会常務理事）  
迎バ  
る方は  
ござい。  
一幅浜駅  
藩浜居舍  
みかん  
根座店前

●演題「不器男と赤黄男—その魅力」  
当季推泳二月段可斗五〇〇円  
の送  
希望され  
みにく  
JR八  
前⇒八幡  
かん着  
ゆめ  
新町駅  
西口

当季新説二卷 挑合料五〇円  
当日句表彰 赤黄男賞・市長賞・市議会議長賞ほか多数  
乗車を希望する者へお申込みください。10時~17時  
銀座店前 カーネーション  
6:00

1  
セイセイ  
セイセイ  
セイセイ  
セイセイ

第七回 聽一聽

※ 一行に一句、楷書でていねいにお書き下さい。そのままコピーします。  
毛筆切、三重没刃、盜作、貞以刀、川壳等は付属ト二つも。

切の取の泉

應募句選者

• 順不同

敬稱略・順不同

当日選者

順不同

氏名	ふりがな	所 属	俳句大会に	投句料
				出席
住所	〒		・ 欠席	・ 振込
電話	( )	当日欠席のため入選句集送付を希望（要・180円分の切手）する・しない		